

Branding

ーブランディングー

浅草珍道奇譚

江戸絹子

浅草珍道奇譚

MAIN USED SOFTWARE **Ai**

MAY.2024
3~4 WEEKS

浅草の隠れた名所を巡るスタンプラリーのブランディングになります。

/ USED SW Ai・Ps / PRODUCTION poster・stamp rally book



BRAND NAME

浅草珍道奇譚
(あさくさちんどうきたん)

歴史の深い浅草で、マニアックな場所に行き自分たちで1つのお話を作るような体験をしてもらいたくこの名前にしました。

浅草は建物、人、街並みが混沌としている面があると感じているので浅草のそんな一面を表現する為コラージュでロゴを制作しました。

CONCEPT

浅草のあまり知られていない隠れた名所を3つのジャンルごとに古文で作られた目的地を解き明かしてスタンプラリーをしていく観光冊子

TAGLINE

浅草にて三つの珍道中あり

スタンプラリーは3種類のコースにジャンル分けをしたためというのと、隠れた名所に行き自分達で1つのお話を作って行くといった思い出作りをして欲しいところからこのコピーにしました。

TARGET

展開物のコースにもよりますが20代~50代
浅草に一度来たことのある方

PRODUCTION

メインビジュアル
スタンプラリーの冊子

- ・歴史・神社メイン
- ・エンタメ・遊び場所メイン
- ・食べ歩き・喫茶店メイン

メインビジュアル ポスター /B2

コピー「浅草にて三つの珍道中あり」

ロゴのコラージュ写真を散りばめ背景には浅草の地図を配置し下にはコースの名前と冊子に使った図形を組み合わせました。
横文字の「スタンプラリー」が似合わないと考えたため「判子巡りの旅」にしました



判子種類



歴史的 & 神社メイン 縁者足跡ノ章 (えんじゃそくせき) 冊子 / A4

コースとしては、浅草文化観光センター・浅草九重（揚げまんじゅう）・北斎の墓・浅草寺浅草神社・待乳山聖天・今戸神社の順です。



判子種類



エンタメメイン 郷愁遊園ノ章 (きょうしゅうゆうえん) 冊子 / A4

コースとしては、屋上浅草ハレテラス・浅草九重（揚げまんじゅう）・浅草バッティングスタジアム・浅草きんぎょ・浅草文化観光センター・浅草香月堂姉妹店（射的）・浅草寺の順です。



私の作った造語なのですが、縁者足跡というのは明治時代では今でいう渋谷のように栄えていた浅草で過去自分の先祖が通っていたかもしれない場所を巡るといった意味でこの名前にしました。コース自体は神社などをメインにどの年齢でも楽しめるような「少しマニアックだけど王道浅草」をテーマに制作しました。

私の作った造語なのですが、郷愁遊園というのは今の言葉で置き換えると「エモい遊び場所」といった感じで、昔の惹かれるアミューズメント施設を集めたコースになります。コース自体は浅草という地のため、金魚掬い・射的といったお祭りの要素を多く入れ私自身のアルバイト先であるバッティングセンターも入れさせていただきました。そのため、高校生や家族連れの方をメインターゲットに考えています。



判子種類



食べ歩きメイン 人寄食歩ノ章 (ひとよせたべあるき) 冊子 / A4

コースとしては、くろげ (メンチカツチーズ)・タコの鳴き声 (タコせんべい)・浅草文化観光センター・浅草九重 (揚げまんじゅう)・浅草うなぎ (うなぎのおにぎり) 浅草寺・ロッジ赤石 (喫茶店) の順です。



私の作った造語なのですが、人寄食歩というコース名は特に捻りはないのですが自然と人を寄せ付けてしまうような美味しい食べ物を巡ると言ったコースになります。コース自体は食べ歩きをメインに、有名な喫茶店が多い浅草の中でも隠れた名店を入れました。

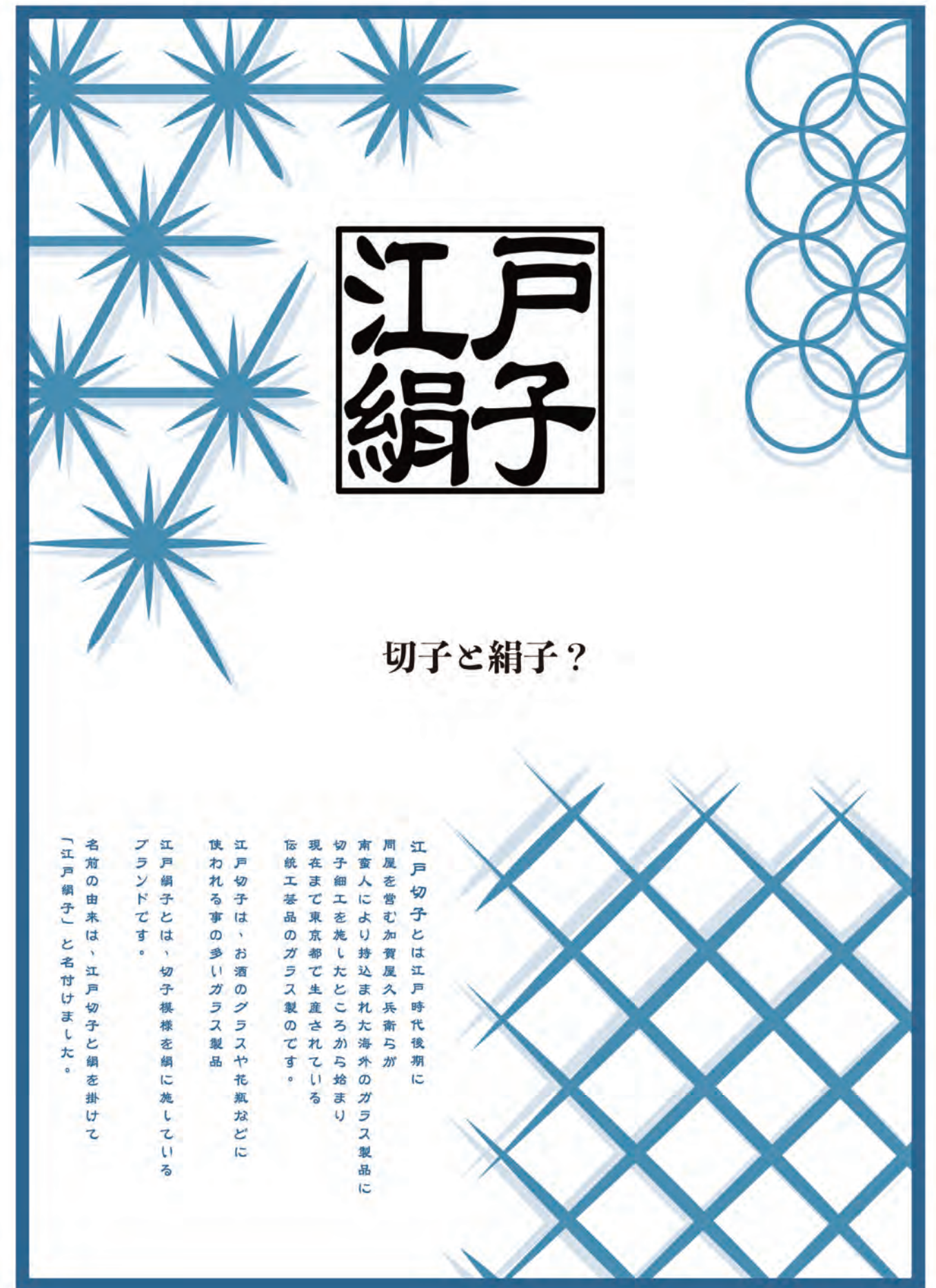
江戸絹子

MAIN USED SOFTWARE **Ai**

OCT.2023
1~2 WEEKS

江戸切子の模様を絹製品に落とし込んだ伝統がテーマのブランディングになります。

/ USED SW Ai / PRODUCTION poster・package



BRAND NAME

江戸絹子
(えどきぬこ)

江戸切子の模様を絹製品をメインに施すという所から切子と絹をかけて江戸絹子というこの名前にしました。
初めは、図形と文字の構想でしたが全体のバランスを見た時に和風のフォントのみのシンプルなデザインに決めました。

CONCEPT

江戸切子というあまり馴染みのないものを身近にするため、江戸切子の模様を絹製品や布地に落とし込む

TAGLINE

切子と絹子？

少し目を惹くコピーにしたいと考え、疑問系の文で江戸切子と江戸絹子を

TARGET

30~70代の男女
和柄や江戸切子を好きな方
プレゼントをお探しの方

PRODUCTION

メインビジュアル

パッケージ

・商品の包み紙

切子と絹子？

江戸切子とは江戸時代後期に周屋を営む加賀屋久兵衛らが南蛮人により持込まれた海外のガラス製品に切子細工を施したところから始まり現在まで東京都で生産されている伝統工芸品のガラス製です。

江戸切子は、お酒のグラスや花瓶などに使われる事の多いガラス製品

江戸絹子とは、切子模様を絹に施しているブランドです。

名前の由来は、江戸切子と絹を掛けて「江戸絹子」と名付けました。

メインビジュアル ポスター / B2

コピー「切子と絹子？」

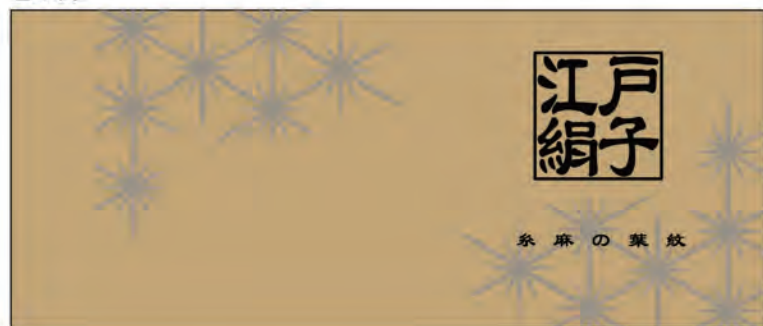
装飾には江戸切子の模様を大きく配置し影をつけました。

左下には江戸切子の歴史や使われ方、そして江戸絹子について載せました。

商品カード



包み紙



商品カードは、江戸切子の模様には意味がありその商品の模様の意味を記しました。
カードには模様影をつけるなどの工夫をしました。



江戸 江戸
絹子 絹子

江戸
絹子

江戸絹子

ブランドロゴについて

初期構想では、文字と図を合わせガラスという元々固いはずの物に彫られている模様を絹という柔らかい素材に入れる
というところからガラスコップが揺らいでいるイメージのグラフィックを入れましたが全体のバランスを考え
和風なフォントを使った文字のみのシンプルなデザインに決定しました。